

第2学年 特別活動 学習構想案

日 時 令和7年7月17日(木) 第2校時
場 所 2年1組教室
指導者 教諭 米村 綾途

1 単元構想

単元名	「みのまわりのきけんを見つけよう」
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）	
自然災害からの身の守り方について、危険を予測して、日常生活を安全に保つために必要な事柄を理解し、行動に表そうとする児童	
単元を通した学習課題	本単元で働かせる見方・考え方
地震が起きたときに、危ないものや場所はどこかな。	防犯を含めた身の回りの安全、交通安全、防災など、自分や他の生命を尊重し、危険を予測し、事前に備えるなど日常生活を安全に保つために必要な事柄を理解すること。

2 本時の学習

(1) 目標 教室の中で危険なものや場所について考える活動を通して、適切に身を守るために、自らがすべきことを考えることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	1 課題をつかむ。 ○アンケートの結果をもとに、自然災害に対する意識や実態について把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【学習課題】 じしんがおきたときに、あぶないものやばしょはどこかな。 </div>	○自然災害についての学級の実態を知り、学級の課題を考える。
展開	32分	2 課題の解決に向けて活動する。 ①本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【めあて】じしんがおきたときの、あぶないものやばしょ、みのまもり方を考えよう。 </div> ②教室の中で危ないものや場所を個人で考える。 (共通実践事項1) ③友達と意見を交流する。 ④全体に広げる。 ⑤実際に地震が起きたときを想定して、避難行動をとってみる。 (共通実践事項2) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【期待される学びの姿】 交流活動を通して、身の守り方を考えたり、行動で表したりしようとしている姿。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【まとめ】じしんがおきたときには、上からおちてくるものやたおれてくるものがあぶない。 </div>	○教室の中を実際に見て回り、自由に考えることができるようにする。 ○危ないものや場所はどういう共通点があるかを見つけられるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【具体的評価規準】思考・判断・表現 ○危険なものや場所を考えたり、適切な身の守り方について考えたりしている。 (方法: 行動・ワークシート) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【到達していない児童への手立て】 ○写真を提示し、その中でどこが危ないかを一緒に考えながら活動できるようにする。 </div>
終末	8分	3 学習を振り返る。 ○今日の振り返りをする。 (共通実践事項3)	○振り返りの視点①④ ○学習したことをもとに、屋外や家ではどうすればよいか投げかける。

3 指導に当たっての留意点

【視点1】「状況を的確に捉え、判断し、主体的に行動する力を身に付ける授業の工夫」

手立て3：子供が自らの意思で表現したり、行動したりする場の設定

○対話的活動やロールプレイを通して、自らの意思で考えを表現したり、行動したりできるようにする。